

## 東北関東大震災 寄り添い、支えあう気持ちで！！

### 支援物資募集一時中止のお知らせ

わたしたち庄内医療生協では3月11日震災発生時より、組合員の皆さまから提供いただいた救援物資を宮城県に届けてきました。あれから半月が経ち、被災地からの要求も日々変わってきています。今後は松島医療生協の地域支援を中心に活動します。被災地域のお宅を訪問することで、必要とされるものや支援の仕方がわかってくると思います。そのときに再度皆さまからのご協力をお願いします。一旦、支援物資の募集を一時中止させていただきます。ご了承ください。



被災し家屋を失い、避難所にいる人も多くいますが、身内を頼り、庄内地方に来る人たちも大勢いると聞きます。仙台で津波には遭わず、激しい揺れではあったが、住まいの崩壊は免れた。しかし住むことはできず、2日間を避難所で毛布一枚と2本の力ロリーメイトのみ、情報は断片的にラジオで流れてくるだけで、4日目に家族の迎えで鶴岡の自宅に帰り、初めて震災の全容を知った人も。兄弟を頼り、親類と合せて十七人で鶴岡にきた人もいます。直接の被災地ではない私達の住む庄内は、この日本で、東北で「共に生きている」という想いで寄り添い、被災地復興を支援していきたいものです。「歴史を見ても、自ら立ち上がってきたのが日本人」という人もいました。今だから支え合うことが大切です。

寄り添い、  
支えあう気持ち



鶴岡にも避難する人達が

※注意 「実際に被災して  
ないのに気持ちが沈む」

今回の震災報道（テレビや新聞）に多く接するうちに、不安や体調不良を訴える方が増えていきます。被災地に人がいなくても、身近に思い、涙が出たり無力感を感じたり、動悸、めまい、食欲不振などの症状が出る人もいます。不安が強まって苦しくなるようなら、マスメディアに接しない時間を作りリラックスできることや好きなことをするのもよいでしょう。

苦しむ人たちへの  
息の長い支援の決意を  
心に持ちつつ



リラックスの時間も大切

### 救援カンパについて

物資の募集は一時中止させていただきますが、引き続き支援募金へのご協力を願います。

組織部 TEL22・5769まで

